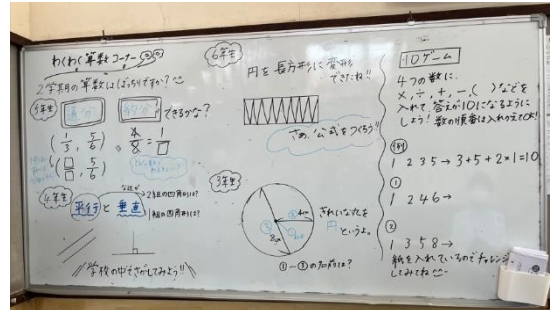


学校訪問シリーズ 7

津久見市立千怒小学校から学ぶ

学校の教育目標「家庭や地域と連携し、未来に向かって、力強く今を生きる千怒っ子の育成 ～挑戦、ぬくもり、行動～」を達成するため、育成を目指す資質・能力を「課題解決能力」と定め、研修部、保体部、生活指導部を中心に組織的に取り組んでいます。

また、今年度は小算研の研究校として、主に「主体的に学習に取り組む態度」における、めあてや課題、評価の在り方の研究に挑戦しています。



学校経営から学ぶ

学校評価の4点セットの3つの重点目標について、それぞれの担当がA4サイズ1枚に詳細に分析を行い、2学期の改善点をより具体的に定めています。特に注目すべきは、学校訪問で協議した内容を詳しく整理され、具体的な改善策に加え、それを確実に実行していることです。我々としても大変嬉しいことであり、同時に大いに責任も感じます。

今後は、それぞれの改善点について、

定量的な項目については期限や回数等数値を定め、定性的な項目については、よりイメージ化を図ることで、さらに目標が明確になると思いました。



NO.124 2022年9月 津久見市立千怒小学校

ちようせんする
今日は発表するぞ!自分の力で解いてみるぞ!そのようなやうな気が伝わってきますね。



NO.125 2022年9月 津久見市立千怒小学校

ぬくもりのある
みんなが肯定的に聞いてくれるので、自分の考えを素直に発言できる。

授業から学ぶ

3年生の国語は、自分達で発見したことは何を言っても許されるような温かい学級の雰囲気があるので、積極的に発言する姿が印象的でした。

5年生の算数では、少人数指導の目的と手段を理解されており、両コースとも子ども達はとても意欲的に学んでいました。共に授業のテンポが良く、子どもの意見を引き出しながら、めあてや課題を共に作り上げる導入は見事でした。



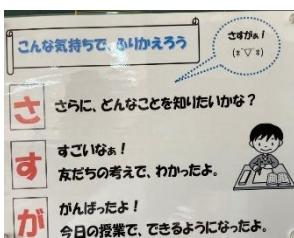
NO.127 2022年9月 津久見市立千怒小学校

課題解決能力
一人ひとりの考えを大切にすることで、新たな解決策が見つかる。



NO.126 2022年9月 津久見市立千怒小学校

ことうする
困っている人に気づいたら、自分から行動する。教える時は相手の気持ちを考える。



今後は指名の仕方を、挙手→指名だけでなく、短時間の学び合い→列指名等を取り入れることで、多くの子ども達に発言の機会を与えられると思いました。また、評価についても、自分だけで考えたことと、友達と学び合った内容については鉛筆の色を変える等の工夫も検討されてみるとよいかと思いました。